

動物園を デザインする

円山動物園

札幌市立大学

の12年間の歩みとこれから

3/17

(土)



13:00

開会のご挨拶

札幌市円山動物園 加藤修 園長



13:05-13:25 動物園デザインの12年間の歩み

酒井正幸 (札幌市立大学デザイン学部・特任教授)



13:25-13:45 「動物園の森」のデザイン

矢部和夫 (札幌市立大学デザイン学部・教授)

休憩 (5分)



13:50-14:10 「ホッキョクグマ館」のサインデザイン

福田大年 (札幌市立大学デザイン学部・講師)



14:10-14:30 動物園での「学び」をデザインしてみると…

若林尚樹 (札幌市立大学デザイン学部・教授)



14:30

閉会

13:00-14:30

札幌市円山動物園
動物科学館ホール



札幌市立大学

SAPPORO CITY UNIVERSITY



文部科学省

地(知)の拠点

札幌市立大学では、2006年より札幌市円山動物園と連携して、「動物園の森」の整備、園内のサインや動物舎のリニューアルデザインを進めています。

動物園プロジェクトが始まってから12年が経ち、市民の皆さまに親しまれるようになった円山動物園のデザイン最前線について、4名の講師陣が解説します。

お申込み先、お問合せ先は裏面をご確認ください。

13:05~ 13:25 動物園デザインの 12年間の歩み



札幌市立大学では、2006年からスネークアート展、こども動物園・類人猿館の改修、オランウータン(弟路郎)の生態展示サービス実験など、円山動物園と数多くのプロジェクトを進めてきた。講座では、これまでの取り組みと今後の展望について述べる。

酒井正幸



札幌市立大学デザイン学部・特任教授

長野県生まれ。三菱電機(株)を経て2006年より本学教授(2010~16年デザイン学部長)、2016年より現職。博士(工学)。趣味は昆虫研究で、今後、動物園の森をはじめ、地域固有の昆虫の飼育展示に夢をもつ。

矢部和夫



札幌市立大学デザイン学部・教授

千葉県生まれ。札幌市立高等専門学校を経て2006年本学准教授、2007年より現職。学術博士。生物多様性保全、湿原再生、ビオトープ、山野草、緑化を専門として自然環境の保全に取り組む。趣味はアウトドアライフ。

「動物園の森」の デザイン



13:25~ 13:45

2009年から「円山動物園の森」というビオトープの整備を推進中である。約50年前の札幌の原風景の再現を目指し、荒れた森をボランティアを含む関係者が連携して外来種除去などの整備をし、来園者に限定公開で森の案内をしている。将来的に一般公開を目標としている。講座ではその内容を解説する。

13:50~ 14:10 「ホッキョクグマ館」の サインデザイン



2015年よりアフリカゾーン、ホッキョクグマ館にて、来園者の感性に訴えるサインデザインの監修を担当している。講座では、2018年3月に開館するホッキョクグマ館デザインについて裏話も含めて解説する。

福田大年



札幌市立大学デザイン学部・講師

北海道生まれ。専門は、デザインインタラクティブ・グラフィックデザイン・デザイン教育。キッズデザイン賞など受賞も多数。修士(教育学)・修士(造形)。趣味は飼育犬と遊ぶこと。

若林尚樹



札幌市立大学デザイン学部・教授

石川県生まれ。富士ゼロックス、資生堂での企業デザイン、岡山県立大学、東京工科大学を経て、2017年より現職。博士(感性科学)。趣味は動物園や水族館をゆっくりと見て回る。

動物園での「学び」を デザインしてみると... 14:10~ 14:30



日本各地の動物園・水族館にて学びを促すデザイン手法の開発、実践研究を展開している。2017年より主観的印象評価をもとにしたワークショップでの学びのデザインの研究を円山動物園でもスタート。講座ではその取り組みについて紹介する。

進行 齊藤雅也

(札幌市立大学デザイン学部・教授)

三重県生まれ。札幌市立高等専門学校を経て2007年本学講師、2017年より現職。専門は建築環境学。博士(工学)。円山動物園では、類人猿館屋外放飼場、は虫類・両生類館、アジアゾウ舎などの温熱環境デザインに関わる。

お申込み先

札幌市立大学サテライトキャンパス
TEL 011-218-7500 FAX 011-218-7507
Email scu-koza2017@acu-h.jp
HP <http://www.scu.ac.jp/>

お問合せ先

札幌市立大学COC事務局

TEL 011-596-6675 FAX 011-596-6676
Email coc-office@jimu.scu.ac.jp
HP <http://www.scu.ac.jp/>

お電話、FAXまたはメールにて『講座名・氏名・住所・電話番号』をお知らせください。
※お伺いする情報は、参加者名簿(記録用・講師用)の作成、主催者からの連絡・案内のみに利用させていただきます。